

学校名 鴻巣市立屈巢小学校
所在地 鴻巣市屈巢4515-1
電話 048-569-0038

1 本校の概要

(1) 本校は学級数7学級、在校児童181名の小規模校である。のどかな田園風景が広がり、3世代家庭も多く、児童は地域の方々に見守られながらのびのびと生活している。学校への協力も厚く、地域のボランティアの方々による読み聞かせも実施している。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・家庭や地域との連携

(2) 実践の概要

ア 朝の読書タイムの設定

業前活動の一つとして読書タイムを設定し、本に触れる時間を設けている。長期休業中を利用して学級文庫の入れ替えを行ったり、市立図書館からの貸出を利用したりして、児童がより多くの本に触れられるようにしている。



イ 委員会児童の活動の工夫

委員会児童の活動の一つとして、学校図書館にあるおすすめの本の紹介をしたり、クイズを作成したりして、本に親しむ環境づくりに取り組んだ。



ウ 読書月間の実施

11月の読書週間に合わせて、読書月間を設定して読書の活性化を図った。全校統一の読書カードを作成し、達成状況が分かるようにするとともに、集計した結果により委員会児童が賞状を作成するなどして意欲の向上に努めた。



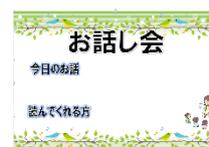
エ 学校図書館支援員の活用

国語科の学習と関連を図りながら、学校図書館支援員による本の紹介や、関連図書の取り出しを行っている。なかなか手に取りにくい分野の本であっても、学校図書館支援員によるブックトークによって興味が湧いたり、関連する本を進んで探したりすることができるようにしている。



オ 読み聞かせボランティアの活用

読み聞かせボランティアによる朝の読み聞かせを年間6回程度実施している。また、卒業時には児童に今まで読み聞かせをした本の一覧を記録として渡すことで本への興味につなげている。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

ア 委員会児童の活動や読書月間の取組により学校図書館の利用が活性化された。(約200冊の貸出数増)

イ 学校図書館支援員の活用により、本に対する児童の興味が高まるとともに、効果的な教育活動へ繋げることができた。

(2) 課題

ア 本に触れる時間に個人差があり、家庭とも連携しながらより本に触れる環境づくりをさらに工夫していく。

イ 教科指導との関連を計画的に図り、より一層効果的な図書利用を検討していく。

(3) おわりに

感染症対策として学校図書館の利用についても制限を設けて行っている状況であるが、今後も児童が本に親しむ機会を増やし、国語科の学力向上にも繋げていきたい。